

## 生駒市郷土資料館新設準備検討懇話会第1回会議録（要点筆記）

1 開催日時 平成22年7月28日（水）午後3時～午後5時13分

2 開催場所 生駒市役所 大会議室

3 出席者 （委員）浦西委員 山本委員 吉川委員 小林委員 樋口委員 吉田委員  
西川委員 山田委員 臼井委員 神委員  
（事務局）早川教育長 長田生涯学習部長 西野生涯学習課長 今野生涯学習  
課長補佐 錦文化振興係長 西山文化振興係員

4 会議の公開・非公開 公開 傍聴人数 1名

### 5 議題

委嘱式 辞令書交付

教育長あいさつ

委員・事務局職員紹介

- (1) 役員選出
- (2) 懇話会設置にいたる経緯及び趣旨等説明
- (3) 検討項目の提案
- (4) 意見交換
- (5) その他

### 6 審議内容

(1) 役員選出

会 長 浦西委員 選出

副会長 山本委員 選出

(2) 懇話会設置にいたる経緯及び趣旨等説明

事務局から説明

- ・ 郷土資料館新設にいたる経緯  
昭和56年度に山崎町地内生駒市消防署に生駒市郷土資料館が開設  
平成11年7月11日に救急専用施設の改修のため閉館
- ・ 市所蔵文化財の管理状況について
- ・ 生駒市郷土資料館新設検討委員会（17・18年度）  
コンセプト「いのち 生駒山 川 道」、施設の機能、役割等について議論。平成  
19年3月検討結果を市長に報告。

- ・旧生駒町役場庁舎（中央公民館別館）の活用
  - ・21年度耐震診断の実施
  - ・「登録有形文化財（建造物）・旧生駒町役場庁舎」として国の登録原簿に登録（平成22年4月28日付）
- ・市の文化財行政の取り組みについて
  - ・調査事業と保存事業  
古文書、仏像、民俗、埋蔵文化財発掘調査、再整理事業をおこなっている。
  - ・活用普及事業  
出土遺物展示「ワクワクドキ土器！？はっくつこま2010 -発掘調査成果展-」  
開催  
文化財マップ・ハンドブック「生駒の歴史と文化」刊行  
生駒歴史文化セミナーの開催  
教職員夏季研修 体験学習会・小学校出前授業  
HP 生駒市デジタルミュージアムで市内の文化財や調査成果をネット公開  
古文書デジタル資料化『愛郷新聞』など  
高山城跡遊歩道管理事業  
指定文化財保存事業
- ・懇話会新設の趣旨等
  - ・今後の会議の進め方  
会議は5～6回、検討項目の設定と検討を経て、年度末又は来年度の早々に提出していただく予定。
  - ・郷土資料館基本設計 秋～年度末予定（懇話会と並行実施）  
文化庁・県教育委員会の指導を受け役場庁舎時代の復元的修理・耐震補強をめざす平成25年の開館に向け進行していく予定
  - ・「第5次生駒市総合計画」～市民が創る ぬくもりと活力あふれるまち・生駒の基本理念に則り、検討されたい旨説明

浦西会長 質疑等ありますか。

吉田委員 この検討委員会の意義は何ですか。

事務局 平成17・18年度に新設検討委員会を発足し、郷土資料館が必要か必要でないか、どのようなコンセプトで開設したらよいか、まちづくりの中での機能・役割の議論を経て報告いただきました。その際、立地は未定で、生駒山、道、川、命などのコンセプトが決定されました。

現在は、中央公民館別館を転用することに決まりましたので、より現実的な議論をお願いしたいと思います。

吉田委員 必要である結論。発展させ今回の懇話会をやっていくことでよろしいですか。

事務局 はい、発展させ、より具体的な議論をお願いします。

吉田委員 検討委員会の報告書には「学習」という言葉が出てきますが、「遊び」という言葉が出てこない。地方の博物館を歩き回ったが、何処もガラガラの状況のみかけます。市民参加しているところがない。学習が多いが遊び心がない。学びの場・交流の場と言っているが、人がいない。市民の目線からの博物館とは感じない。機能してない資料館が多い。遊びと人の賑わいの中から何か発見し表現し発信する。そのような発想をこれからの意見の中で取り入れてほしいです。

浦西会長 これから具体的にその議論に入りますが、その件で事務局から何かありますか。

長田部長 貴重なご意見ありがとうございます。

今回資料館をつくるにあたり、いろいろな博物館を調べるとやはりガラガラという所もたくさんあります。遊びの中から学習という所もあります。この報告書を元にではなく、資料館が必要かという提案を受けて具体化し、新たな方法・知恵をいただき、新しいものをつくるために今回集まっていただきました。今のおっしゃった意見について具体的な提案をお願いしたいです。

吉田委員 運営・資金つくりの発想を変えるのです。例えば参考になるのは所蔵リストの中にある髪飾り・櫛、かんざし等で、女性の簪をテーマにした展覧会など展示や髪型に芸伎さんのモデルを起用し、写真クラブも参加し撮影会を催すなど、髪飾り一つで写真展示もでき、入場者が少なくても、写真仲間等で人は集まります。

神委員 従来型では進めないこと、設計と懇話会は同時並行とのことですが、設計は具体的に何月からですか。かちあうと懇話会の意見が盛り込めないのではないかと危惧をもったからです。

事務局 9月を予定しています。

神委員 まさに並行だが盛り込みにくい話も出てくるかと思いますが、調整をお願いします。

事務局 はい。

西野課長 コンセプト・ニーズ・人の集まる場にする問題定義、資料館の運営について新設検討項目案を載せています。その中で意見交換していただいたらどうでしょうか。

浦西会長 事務局からの経過と市の文化行政と懇話会の今後の計画についての説明を受けた、その件についての意見交換を始めたいです。それに向けて次の議題に入ります。

### (3) 検討項目の提案

事務局 新設に向けての検討項目（案）を挙げさせていただきました。検討委員会の報告にもありましたが、本当に資料館を望む市民の力を寄せ合いみんなでつくる施設を体現化することが、今求められている生駒らしい施設のつくり方と考えています。みんなでつくる資料館を目指し、資料館が持つべき機能とし、生駒の歴史文化を発信するため検討委員会のコンセプトやそれ以外の意見を合わせ、ニーズをどのように果たすか。市民の学習施設として常に人が集まり、伝統文化の継承や文化財愛護精神を高揚させる拠点となる施設にしていくため、建物自体を顕彰する意味も含め、(1)～(6)の項目を挙げさせていただきました。そういう機能を果たすため、運営のあり方とし行政主導から脱却した市民力をいかした運営にともなう資金、ボランティア育成・確保等を項目に挙げています。

浦西会長 事務局からの説明を受け、意見交換をしていただきたいが何かありますか。

### (4) 意見交換

吉田委員 コンセプトのところで軸をしっかり決めておかないと資料館が揺らいでしまうことが必ずあります。会長から出たみんなでつくる資料館がそのままコンセプトなのか、その中に全部入っているのか確認しておかないと、話し合ってもこの資料館のコンセプトは何か。みんなでつくるのが目的か、「くらしと生きる」をキーワードとしコンセプトに入れると、集中させることもできます。報告書にあるコンセプトを使うのかどうか決めてほしいです。

浦西会長 郷土資料館新設委員会の報告書のコンセプトについて事務局から説明を。

事務局 報告書の提出時点でコンセプトを、「いのち・生駒山・道・川」でいただいた。歴史的にも「道」や「川」は生駒市の地理、時代の歩みの中で一つの大きな要素です。生駒山とは、「いこま」と言えば何だろうと問うたときにどう答えるかというところでの話で出たもの。報告書のコンセプトを参考に挙げました。絶対それを使わないといけないということではない。それ以上なものがあれば付け加えるか修正していただければと思います。

樋口委員 検討委員会と懇話会の関係が分からない。なぜ、この二段構えになったのか。検討委員会の流れでこのまま新設に向けての準備が進められたかと思いますが、この委員会と懇話会が設置された経緯について教えていただきたいです。

長田部長 検討委員会については、11年に資料館が廃止になり、以後資料館が必要だと教育委員会として予算を要望してきた。しかし、予算が付かない現状もあり市民を交え検討し必要性をアピールすることで、今回予算を付ける第一歩が踏み出せました。新たにどのようなものをつくるかという点について検討いただきたいので今回集まっていただきました。これを必ず踏襲する必要もないという前提で意見ををお願いします。

吉川委員 資料館が必要になったのはこの報告書が理由付けになり、それで動いているということ。これを拝見したが、立派な報告書だと思います。新たに付け加えたり具体化したりする部分はまた出てくるかと思いますが、これをベースに進めていくのが筋ではないですか。

神委員 その意見に賛成です。スケジュール等見ても、今コンセプト云々の話をすれば、我々がしたいことすら出来ない現実が見えています。それならば、これをベースにして 踏み上がっていくやり方が我々として一番ベターではないかと思えます。

吉田委員 まちづくりのシンポジウムでいろんな活性化事例を聞いていますが、不思議と生駒山が全然出てこない。コンセプトは、イメージとして言葉に表しておくといろいろ出てきます。「みんなで作る資料館」というのはいい言葉です。我々の報告の前提とするならば、報告から学習を消す、「市民と遊び」をコンセプトにしたらどうですか。そこから市民はどんな参加をしたらよいか、遊びの内容や運営法、資金集め全部にかさなります。保存に徹するか、研修・公開し、市民に生かされ市民の目線から楽しいものにしていきたいです。

神委員 「みんなで作る資料館」は今回の題目で、報告書の中での、「過去・現在・未来・いのちが繋がっている」部分がコンセプトであるということですね。

事務局 あと生駒山があります。

神委員 これがキーワード。「みんなで作る資料館」がいきなり出て委員が混乱しています。その辺りをはっきりするとブレがないと思います。

白井委員 報告書の「いのちの繋がり」が大切なことです。この考え方を生駒市は絶対外さず軸にしていこうという形を取っていいと思います。キーワード的に道・山・川はいいと思います。いのちを縦軸、横軸で考えていくと何か案が出てきます。縦軸は、世代世代の部分もありながら内容的にさぐることもでき、横軸はコミュニティです。構図的に描きながら話さないとこの懇話会もできないと思います。

浦西会長 そういう方向性で懇話会は進んでいきたいです。

山本副会長 展示する物はどこにありますか。

事務局 学校施設の空き教室など利用し収蔵しています。貴重な資料については芸術会館美楽来の温度・湿度調整ができる収蔵庫に保管しています。

神委員 報告書によると、収蔵スペースとして 844 m<sup>2</sup>利用している、今回の施設が 510 m<sup>2</sup>だが全て収蔵するのですか。

事務局 民具はかさ高い物、重い物もあり、埋蔵文化財などもかなり重い、建物自体の耐荷重等を考えると全て収蔵することは無理かと思っています。

神委員 日本博物館協会が出している博物館白書によると郷土資料館・歴史系の博物館は大体、のべ床 1000～2000 m<sup>2</sup>が普通です。今回は 500 m<sup>2</sup>とかなり厳しい面積だと認識しておくべきです。100 m<sup>2</sup>に収まるぐらいの資料しか入らない。かなり厳選しないと今後破綻します。市民のための施設だとするとそのスペースも要ります。建物を見てガラスから陽が入るため古文書などは置けない、外は登録文化財だが、中は様変わりしてもかまわないのですか。

事務局 登録有形文化財は外観を変えないのが原則です。内部は市民ホール（122 m<sup>2</sup>）が改修されておらず、昭和 8 年のほぼ元のままの姿で残っています。天井も凝った装飾、ガラス張、ガラス自体も当初のままです。元の姿を残している所は内部を変えず、うまく使って活用するように県教育委員会・文化庁からの指導されています。南側の和室は、公民館施設として改修されているので改修してもかまわないと考えています。控室 1・2 については、もとの町長室・応接室の間取りがほぼ変わらず、現在の畳敷きを昔の板敷きに戻しながら間取りは変えない、又土蔵も変えないようにと指導を受けています。

神委員 平均より非常に狭い。なおかつ、あまりいじれない条件でかなり厳しいと思います。我々はいろいろ夢がありますが、ここでなければいけないのですか。

西野課長 登録有形文化財に登録されましたが、現在中央公民館別館あるいは市民ホール別館として市民の利用のため貸し館にしています。中程度震度 7 以下の地震には、耐え得ると思いますが、それを超える大地震の場合は倒壊の恐れがあるため、耐震の必要がありますが、登録有形文化財の指定を受けているので、国の補助で耐震補強・設計監理が実施できます。また、郷土資料館を新しく別の場所で建設するよりも、既存施設を有効的に活用していこうと、なおかつ登録有形文化財としてそのまま保護できるような施設で造っていこうという前提で検討をお願いしている状況です。

神委員 収蔵庫はここになくてもいいのですか。

西野課長 収蔵庫については、生駒小学校学童保育施設があったところを借り、出土遺物について現在修復中が約 450 箱を何年間かけて修復し、スリム化していこうと遺物の保管方法も検討している状況です。施設は 500 m<sup>2</sup>を少し超えたスペースであり、保存・保管するスペースも限られるため、小学校や学童保育の旧施設を借りたまま保存・保管を進めていきたいと考えています。

神委員 副会長も心配されていたが、保存されている今の環境は充分なのですか。櫛・漆等の非常に脆弱な文化財が光にあたる所なら劣化してしまうから、今の状況はどうですか。貴重な市民の文化財であるから心配です。

事務局 農具・民具の鉄製品のサビ又はカビ被害が非常にある。それを少しでも軽減するため、現在学校施設に移動しているので、ある程度被害は防げています。

吉田委員 資料館をあの場所に造るということでメリットが二つあります。最寄の駅の近い。地方資料館は交通の便が悪いところにあります。建物を完璧残すことが一つの生駒が文化行政で見せる力量ですから、建物を見るために行くことができます。スペースの問題は限界があります。博物館の中で人を集めることは、わいわいすることでない、それは中央公民館でいいと思います。保存することだけではなく人に見てもらい、生駒市はこんな博物館があるとアピールする。市民が外に誇りにできるものができればいいと思います。

神委員 検討項目（案）1～6は、事務局が考えた優先順で書かれているのですか。

事務局 優先順でなく、建物・展示機能・収集・調査研究機能・情報発信・市民参加機能、資料館のイメージが湧いてくる順で並べています。

神委員 市民代表として、市民参加が最後だったので質問しました。これも重要な要素であると説明がありそう受け取っています。人がなかなか集まっていない施設が多いため、集まって賑わいがあるような施設にするというイメージを事務局も我々も持たなければならぬ。駐車場がない。バスは止まるのか。役所に止めて歩くのがいいのですか。

西野課長 川をはさんで裏側に公共の用地があります。又庁舎からも近い活用ができるかと思います。建物の制約はありますが、外側のスペースの中で駐車スペースを若干改修し今以上に確保できるようにと思っています。

神委員 大型バスが近くに止められるか止められないかで雲泥の差、アクセス的なものが気になり、生駒市の小・中学生は無料にするとしたら、どんどん子供たちが来る際に遠ければ何かと危険で不便ですから、その手間も心配しなくてよいということですか。

西野課長 どれだけ来るか想定はできませんが、現在は公民館別館として駐車スペースが限られているということが周知のもとでご利用されているので、市民からのニーズは今のところはありません。ただ、資料館が出来上がれば庁内調整や生駒小学校との調整などで検討していきたいと考えています。

西川委員 市民が参加でき子供も遊べます。例えば、はた織り機をただ見るだけではなく体験できるなどの工夫が必要です。収集されているものは、ただ置くだけでなくまだこれから収集していくことになれば、現状でも難しいです。今の4ヶ所

に収蔵されているものを全て持って来れるのか、ピックアップしていくのかの問題だ。

事務局 テーマに合わせて移動させるのはあまり資料保存的に良くないが、スペース的なこともあり入れ替え作業になるかと思っています。

西川委員 収集したものを人が見られるように置いてますか、寄贈者としては説明書を付けきっちり管理してほしいという気持ちが強いです。集めればいいというだけではだめです。

神委員 事務局から項目を挙げているので、話が散らばるのではなく一つずつ進めていくことにしてはどうですか。

浦西会長 今回一つずつ検討していくと時間が限られてますので、今回の目次にコンセプト・いのちを入れたい意見もありますが、「みんなでつくる資料館」収集・展示次回にそれぞれを検討するスタートラインに立ったと理解し、検討委員会の報告書を主体に我々で検討し、その上で提言を次回に検討することにしてはどうでしょうか。学校関係と博物館も課題です。運営面もアドバイスをさせていただきたいです。今回、資料館建設にあたりそれぞれの委員の思いがあり、学習の中に遊びもあり意味もあります。遊び・楽しみの考慮、市民参加の目線が報告書にない、生駒市が収集している資料の収蔵庫の問題、利用についてのスペースの問題等を踏まえ、もう一度検討委員会の報告書を読み直し次回の会議で提言していくことでよろしいですか。

吉田委員 文化財はなぜ費用対効果なのか。そうではない。いい施設があれば自然と経済効果は出てくると思います。

山田委員 資金は広く浅く集めなければならない。私も別館や前資料館は前を通っているが、関心はなかった。では、どういこまの歴史をつくるのか。物語などにすると興味も引く、学校関係の話も聞いていきたいです。

吉田委員 一回は行くがそれっきり。リピーターを作るにはどうするのか、これから考えていきたいです。

浦西会長 報告書をたたき台にし、今回の意見があった報告書の中の学習という言葉、生駒市の歴史資料の活用をどうするのか、どういう形で市民参加を行うか、市民

目線の資料館、コンセプトとしての「いのち、山、川、道」が必要、民俗資料文化財の保存について収蔵の問題、駐車場、駅に近いメリット、子ども参加、人の集まる場所にするための登録有形文化財の建物の活用、展示・収集・研究・情報活用、市民参加、運営のあり方を次回の課題にし意見交換することによってよろしいですか。

吉川委員 報告書とともに生駒市総合計画もベースにしながら進めた方がいいと思います。

浦西会長 生駒市総合計画の中に関係するところがありますが、これも次回に結びつけて考えていきましょう。

神委員 学芸員の資質をかなり高いものを求めているが採用計画は怎么样了。次回聞かせていただきたいです。

長田部長 学芸員はおります。運営の形態がどうなるかわかりませんが。

神委員 わかりました。

浦西会長 次回の日程を事務局から調整を願います。

(次回日程調整の結果、9月30日木曜日、10月25日月曜日、11月22日月曜日。時刻は午後3時始まりで全員了承。)

浦西会長 今日はこれで閉会します。ありがとうございました。

以上